







地域で始まる新たな挑戦

はまクル始動

市立中学校の部活動の地域展開「はまクル」が、まずは休日にそれぞれの地域で始まりました。今月の特集では、「はまクル」に参加する生徒たちと、その活動を支える地域の皆さんの取り組みを紹介します。

はまクルとは

「はまクル」は、「はままつ＋地域クラブ（ＣＬＵＢ）」を融合させた造語で、浜松市が目指す地域クラブ活動の総称です。

はまクルが目指す姿

市は、学校部活動が果たしてきた役割を踏まえ、「生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実施」と「持続可能な活動環境の構築」をはまクルの基本理念としています。

少子化が進む中でも、生徒が継続的に活動に親しむ機会の確保が重要です。全国の部活動加入率が６割程度であるのに対して、本市は８割程度と全国的に部活動が盛んな地域です。まずは、平日の学校部活動を維持しながら、休日の活動から順次、地域へ展開しています。

地域の皆さんと共に活動を支えることで、生徒に幅広いスポーツ・文化芸術活動の機会を保障していきます。

はまクルの在り方

はまクルの基本理念に基づき、「活動を楽しみたい」「上手になりたい」「仲間や地域の人との交流を深めたい」といった目的をもつ生徒を対象に、生徒が自分でやりたい活動を選択します。

生徒の勝ちたいという思いも尊重しながらも、生徒が自分でやりたい活動を選択し、勝負にこだわらない一人一人の目標に向き合った活動を行っています。

活動がスタート!!

９月５日、市立中学校全48校で、はまクルが始まりました。

10月１日時点で市認定地域クラブは３８２クラブ、指導者登録者数は１６２３人になりました。

はまクルで活動の選択肢が増加

休日の部活動がはまクルになり、生徒たちの選択肢は大きく広がりました。従来の学校部活動にはなかった、ダンスや演劇、マリンスポーツ、ゴルフやドローン操縦など、多彩な新しい活動が次々と立ち上がっています。

しかし、生徒や保護者にはこのようなさまざま情報がまだ十分に届いていません。今後は新しいクラブの情報や体験会を通じて、「好き」が見つかる環境作りを進めていきます。



地域の大学・企業などとの連携

市では、大学や企業などとの連携を通じて、持続可能な、はまクルの活動環境構築に取り組んでいます。

例えば地域の大学とスポーツ体験会を開催したり、自治会や企業の関係者なども含めた協議会を組織したりして、地域と、はまクルのさらなる関係強化に取り組んでいます。









中学生と保護者に聞きました



はままつ演劇クラブ
(劇団たんぽぽ)
相羽ののかさん

Q 新しい活動に挑戦した理由は

元々、劇団に憧れがありました。家族の後押しもあり、参加することを決めました。

Q 新しい活動に挑戦しての感想

これまでよりも明るい性格になり、学校での活動もより自信を持って取り組めるようになりました。

新しい友達もできて、一歩踏み出して良かったなと思います。



浜松市立北部中学校
男子ソフトテニスクラブ
板垣晴さん

Q はまクルに移行して変化は

はまクルで専門的な指導を受けることができ、サーブの打ち方など多くの学びや発見がありました。

Q はまクルのいいところは

家族や保護者が練習を見に来てくれる機会が増えたことです。家族でテニスの話をする機会も増えました。練習でかっこいい姿を見せられるように頑張っています。

～保護者から～

会計など実務面で工夫を重ねる日々ですが、保護者同士のつながりや一体感が生まれ、子供たちをサポートしながらスタートできたと感じています。

地域の指導者による専門的な指導で子供たちが技術や意欲を高め、生き生きと取り組む姿は、親として活動を支える大きなやりがいになっています。

子供たちの健やかな成長を支えつつ、誰もが無理なく参加できる持続可能な運営を目指し、これからも前向きに歩みを進めていきます。



板垣歩さん

はまクル×地域の指導者





ラブバス U15 女子
バスケットボールクラブ
永井眞晴さん

子供の未来を育む地域クラブに

中学校の部活動の転換期に、教え子たちにも背中を押され「はまクル」の認定クラブを立ち上げました。

はまクルの魅力は、セレクションを設けず、勝ち負けを第一にしない姿勢です。私がポートボールに長年携わり育んできた「挑戦を歓迎し、失敗から学び、考える力と自立心を育てる」という指導方針と重なります。

はまクルの活動が始まり、練習場所の確保や費用面などの課題はありますが、コーチや保護者会の皆さんの協力をいただきながら運営しています。

今後は、子供たちの健全育成を通じて、地域の皆さんや企業、団体から応援をいただけるような、文字通りの「地域クラブ」へと成長していきたいと考えています。

地域社会の未来は「はじめに子供ありき」です。ここで育った子供たちが、受けた恩を次の世代へと送り届け、繋いでいく大人になってほしいと願い、これからも活動を続けていきます。

指導者になるには

- 年　齢：18 歳以上の成人
- 資　格：不要
- 提出書類：身分証明書（データ）
- 研　修：あり（活動前）
- 申　請：はまクル指導者人材バンク登録申請（オンライン）

はまクル×地域の大学





常葉大学
健康プロデュース学部
寺田真依さん

挑戦のきっかけ作りをしたい

子供たちの「好き」を見つける手助けをしたいと思いマルチスポーツ体験会の運営スタッフをしています。

体験会では、モルックやアルティメットなどのニュースポーツを中心に、誰もが気軽に楽しめる種目を行っています。

私はあまりスポーツが得意ではありませんでしたが、中学生時代の指導者のおかげで、できなかったことができるようになる喜びを感じました。

スポーツ体験会では、積極的に声をかけたり、指導を工夫したりすることで、少しでも楽しい時間になるように心掛けています。

参加者の皆さんには、体験会を通じて、これからも続けたいと思える種目を楽しみながら見つけてもらえたらうれしいです。

地域の大学生として、地域の子供たちの挑戦を後押しできるよう、これからも活動を続けていきたいと思います。





はまクル×地域企業



浜松いわた信用金庫
米澤浩祐さん　玉澤倫子さん

みんなの「やりたい」を支えたい

休日の部活動が縮小・廃止に向かう中、やりがいを持って打ち込んできた子供たちや指導者の活動機会が失われるのは寂しいとの思いから、はまクルへの支援を決めました。

現在は、一部クラブではありますが、補助金の交付や市の協議会への参画を通じ、地域企業としての関わり方を模索しています。

私たちは、各種目の専門知識を持つ指導者やスポーツ選手で構成する「鉄人クラブ」を組織しています。今後は鉄人クラブから、はまクルのイベントに講師を派遣するなど、スポーツや文化芸術活動の振興に取り組んでいきたいと考えています。

これからもはまクルへの支援を通じて、持続可能な浜松の地域づくりに貢献していければ幸いです。



教育長・野秋愛美

はまクルがスタートして2カ月、野秋教育長に聞きました。

皆さんの温かい応援に感謝

9月から休日の部活動が地域クラブ活動に移行しました。多くのクラブが立ち上がり、指導者人材バンクへの登録が進むなど、子供たちのために力を貸してくださる大人がこんなにも多数存在することに、心から感動しています。

これは単なる数字ではなく、本市の成熟した市民の力、そして地域コミュニティの深い包容力の表出であると感じています。

課題を超えて新たな可能性へ

国を挙げて取り組んでいる「学校から地域へ」という転換は、これまでの学校部活動の歴史と実績を尊重しながらも、新しい時代が求める変化への対応が必要です。

もちろん種目によっては指導者の偏りなど、まだまだ課題がないわけではありません。新しい仕組みへの移行の中で、これまでの部活動との違いに戸惑いを感じている子供たちもいるかもしれません。しかし、その先には多くの可能性が広がっています。

子供たちへのメッセージ

皆さんの成長を支えてくれる大人たちへの感謝の気持ちを忘れず、自分たちの目標に向かって楽しみながら、生き生きと活動に取り組んでほしいと願っています。

関係者の皆さんへ

一人一人の子供たちの夢と目標に向き合い、地域の力を結集した「はまクル」を共に作っていきましょう。皆さんのご理解とご協力を心からお願いいたします。



はまクルの活動に興味のある人へ

はまクルの活動に参加したい、指導者になりたい、活動を応援したい、少しでも興味のある人はぜひチェックしてください！

問合：学校・地域連携課 ☎457-2405
HP▶はまクルポータルサイト 検索

意識調査にご協力をお願いします！

市では持続可能な、はまクルの活動環境を実現するために、「(仮)はまクル応援企業制度」を検討しています。今後、市内企業、団体の皆さんへ「浜松市の部活動地域展開に関する意識調査」を実施します。

- ●対象：市内企業、団体
- ●実施時期：12月上旬～1月上旬
- ●回答方法：郵送またはインターネット

